

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



西九州新幹線、開通！

有田小学校の運動会、ありがとうございました！



2022 有小ソーラン

先日の日曜日は秋晴れの下、運動会を実施でき、感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達のすばらしい競技や演技、係り活動、飾り付け、スローガン掲示、赤白組のパネルなど、全てにおいて100点満点でした。保護者の皆様や地域の方々の応援、PTAでの写真撮影、テント等の後片付けもご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。

児童の閉会宣言にあったように、今回の運動会で得た成功感や成就感、やりがい、感動を、今後の学校生活にいかしていきます。これからも、チーム有田小で子ども達の教育に取り組んでいきましょう。どうぞ、宜しくお願いします。

西松浦郡連合PTA 教育講演会に参加して！



9月23日(祝日)の午前中、教育講演会が開かれました。講師は、利光 恵(としみつ めぐみ)先生(西九州大学子ども学部心理カウンセリング科)による、演題「子どもの“こころ”を知って 子どもの“育ち”を学ぶ」でした。子どもの脳内の発達、運動や遊びと深く関係していると話されました。お話の内容は、以下のとおりです。利光先生は、有田町子育て支援課による「ちろりんカフェ」にも来られています。

- 各家庭の生活スタイルが多様化、周辺住民の暮らしが見えにくい昨今です。働いている家族の姿を、子ども達が見る機会が少なくなっています。

時間に追われる大人、話を聞いてもらえない、目を向けられない子ども

→我が子とのわずかの時間(朝の送り出しや食事、会話)を、子どものために大切にしましょう。

- 自立と自律は異なります。自立は、属性や支配、助力を受けずに過ごすことです。日本は、突き放し気味に取られがちですが、外国では、子ども達がやってみて、失敗したり悩んだりしたら、大人が相談相手になることが多いです。それに対して、自律は、自分自身をコントロールし自分の意思によって行動することです。更に、人に助けを求める力をもつことです。
- ゲーム依存の子ども達が増えています。ゲームをすることは悪いことではありません。ゲーム依存とは、一時的に夢中になることではなく、ゲームによって時間や用事が左右され、日常生活がゲーム中心となり、何か問題が起きても対応できない状況が1年以上続くことです。ゲーム依存によって、大脳前頭葉と大脳辺縁系が連動せずに、自己をコントロールできずに情緒不安になり、ゲームの中の架空世界と、自分自身の現実世界を区別できなくなります。
- 脳内の成長は、身体遊びや運動と連動しています。学習やコミュニケーション、言語の向上はそれまでの体の動き、五官の発達、呼吸と深い関わりがあります。だからこそ、乳幼児や児童の発達段階において、手足、指、手首、足首、腰や背骨、首を動かすことで、自分の身体の動きをイメージしたり、身の回りの空間認知をしたりすることができるようになります。